

団体の基本情報

活動概要

多様なステークホルダー間の協調を促進し、PHRサービス産業の発展を通じて、国民の健康寿命の延伸や豊かで幸福な生活（Well-being）に貢献することを目指し、PHRサービス事業に係る業界自主ルールの策定、ステークホルダーとの対話や政策提言などの活動を行う。

会員企業数

121事業者
(2025年12月1日時点)

Webページ

<https://phr-s.org/>

ガイドラインの概要

ガイドライン名

PHRサービス提供に関わるガイドライン（第4版）

概要

PHRサービス事業協会とPHR普及推進協議会では、PHRの適正な普及推進のため情報交換・情報発信を行い、人々と社会の健康・安全のより一層の向上に寄与することを目指して、わが国におけるPHRの普及推進に向けた活動を進めています。その一環として、PHRサービスガイドライン策定を行っており、このたび本ガイドラインを公表しました。

ガイドラインURL

<https://phr-s.org/contents/guidelines/>

ガイドラインに係る今年度の活動実績

活動実績

消費者の認知や理解を広げる活動

- ・ プレスリリース発行（2025年6月27日）50社ほどのメディアで取り上げられ大きな関心を得られた。
- ・ 大阪・関西万博ステージ出展での協会紹介や意見発信といった対外活動など、多くの活動を実施。

消費者の声を聞き、取組に生かす活動

- ・ ガイドライン説明会（2025年7月17日）にて、多くの参加者のもと、ガイドライン策定の経緯、及びガイドライン内容の説明を実施。いただいたご意見を参考にガイドライン改定を検討中。また、PHRサービス産業の実態調査を実施。

ガイドラインに賛同する事業者を広げる活動

- ・ AMED予防・健康づくり領域の社会実装に向けたシンポジウムなど、関連団体の会議やイベントでの協会紹介や意見発信といった対外活動など、多くの活動を実施。また、団体説明会、11回の情報提供勉強会、3回の会員間ネットワーキング（事業推進を支える情報提供や共創パートナーの模索に資する場）を通じ、賛同事業者を募っている。

評価認証制度の立上を検討する活動

- ・ 評価認証制度の「目的（メリット）」、必要となる費用／リソースの整理、持続可能な制度にするための施策検討、認知度を高めるための施策検討等を実施。検討内容を元に、関連団体やステークホルダーとの意見交換を行い、ブラッシュアップを進めている。



団体の基本情報

活動概要

Personal Health Record（以下「PHR」）の適正な普及推進のため、情報交換・情報発信を行い、社会の健康、安全のより一層の向上に寄与することを目的とする。

会員企業数

52（昨年：47）

Webページ

<https://phr.or.jp/>

ガイドラインの概要

ガイドライン名

PHRサービス提供に関わるガイドライン（第4版）

概要

PHRサービス事業協会とPHR普及推進協議会では、PHRの適正な普及推進のため情報交換・情報発信を行い、人々と社会の健康・安全のより一層の向上に寄与することを目指して、わが国におけるPHRの普及推進に向けた活動を進めています。その一環として、PHRサービスガイドライン策定を行っており、このたび本ガイドラインを公表しました。

ガイドラインURL

<https://phr.or.jp/archives/2920>

ガイドラインに係る今年度の活動実績

活動実績

消費者の認知や理解を広げる活動

- ・ 大阪・関西万博 PHRステージ、スマートライフ+サミット2025、国際モダンホスピタルショー 2025一般公開向けパネルディスカッション等4件の講演(2025年12月末時点)

- ・ 「マンガで学ぶPHR」シリーズの制作・普及に関わる協力

消費者の声を聞き、取組に生かす活動

- ・ PHRサービスガイドライン説明会（2025年7月17日）
多くの参加者のもと、ガイドライン策定の経緯、及び本ガイドラインの説明会を実施 ご意見を次年度以降の活動に取り組む

ガイドラインに賛同する事業者を広げる活動

- ・ 団体説明会、年次フォーラムを通じ、賛助会員・特別会員を募っている
- ・ NeXEHRSSシンポジウム、ILSI Japan勉強会での講演・シンポジウム2件（2025年12月末時点）